

鴨川市地域公共交通活性化協議会 平成 29 年度事業計画（案）

1. 「鴨川市地域公共交通網形成計画」（以下「計画」という）に基づき、次の取り組みを行う。

（１）協議会が実施主体となる事業の推進

①公共交通乗り方教室の実施（計画書 82 頁）

⇒ 公共交通サービスの初回利用に当たっての心理的ハードルを下げ、公共交通機関の継続的な利用を促すため、バスをはじめとする公共交通機関の具体的な利用方法や乗車中のマナー等に関する教室を開催する。

1) 高齢者

対象：市内在住の高齢者

内容：オリエンテーション、交通安全上の注意点、（マイカー利用の危険性等）バスの乗車体験など

2) 小学生

対象：市内小学校児童（3、4 年生を想定）

内容：オリエンテーション、バス乗車体験、車イスの乗車、バスの死角など

②モビリティ・マネジメントの実施（計画書 83 頁）

⇒ 公共交通の乗り方教室の開催とあわせて実施することを見込む。

乗り方教室の出席者を対象として、過度な自動車利用からの行動変容のきっかけとなる情報を提供し、そのためにはどのように行動すればよいかを考えてもらう機会とする。

具体的には、以下の内容を想定しています。

- ・ 自動車利用がもたらす個人的、社会的デメリットに関する説明
- ・ 免許返納制度による優遇制度等の周知
- ・ 公共交通に関するアンケート

（２）計画の推進に係る P D C A サイクルの循環促進（計画書 90 頁）

協議会の会議において、次の事項を把握し、今後における取組みの方向性等について協議を行う。

- ・ 市域内における公共交通の利用状況
- ・ 事業に係る実施結果

2. 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請及び事業評価

地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る「地域内フィーダー系統確保維持計画」に関する協議及び国への認定申請を行う。

また、地域内フィーダー系統確保維持計画に基づき実施した事業に対する評価を行う。

3. 計画改定に係る内容の検討

本市の公共交通網を持続可能なかたちで形成していくため、平成 26 年度に策定された計画の改定に向けた協議を行う。

4. 3の検討に当たって必要となる調査の実施

- ①公共交通に関する現況把握
- ②市民等の意向把握アンケート調査・分析の実施
 - ・無作為抽出による市民アンケート調査
 - ・バス車両内における利用者アンケート調査
 - ・主要施設入口付近における来客者アンケート調査
- ③公共交通の役割、課題の見直し
- ④実施事業、実施主体の評価及び見直し

<主なスケジュール>

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乗り方教室の開催及びモビリティ・マネジメントの実施	開催時期等の調整					実施内容の調整及び実施						
地域内フィーダー系統確保維持計画			協議及び認定申請							事業評価		
計画の見直しに係る内容の検討												
計画の見直しに係る調査			契 約									
公共交通に関する現況把握												
アンケート調査・分析の実施												
公共交通の役割・課題の見直し												
実施事業、実施主体の評価及び見直し												
(市)パブリックコメント												計画改定
会議開催予定			①			②		③		④		⑤

(協議会の開催予定)

①第1回会議(平成29年6月)

- ・平成28年度事業及び決算報告について
- ・平成28年度におけるコミュニティバスの運行実績について
- ・計画改定調査業務の仕様及び執行方法について
- ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域内フィーダー系統確保維持計画(案)(H29.10~H30.9分)について

②第2回会議(平成29年9月)

- ・平成28年度における鴨川市の公共交通全般の実績について
- ・計画改定調査業務の契約について
- ・計画改定の方向性について

③第3回会議(平成29年11月)

- ・改定版計画(素案)について
- ・地域内フィーダー系統確保維持計画に係る事業評価(H28.10~H29.9分)について

④第4回会議(平成30年1月)

- ・改定版計画(原案)について

⑤第5回会議(平成30年3月)

- ・パブリックコメントの結果について
- ・改定版計画(案)について
- ・平成30年度予算(案)、事業計画(案)について